

プランターボックス 組立・取扱説明書

組み立て前に必ず本書をお読みください。
組み立ては、安全な場所で行ってください。
組み立て後は、取扱説明書として大切に保管してください。

仕様		完成図
外形寸法	高さ	69/80cm
	間口	30cm/60cm
	奥行	28cm
棚板耐荷重	15kg/段	
カラー	ブラック	
材質	スチール (焼付塗装)	
備考	アジャスター付	

組み立ては安全な場所で 

推奨作業人数
2人
※1人でも可能です 

作業時間
20分
※2人作業の場合 

必要な工具
六角レンチ
※付属品 

安全にお使いいただくために (必ずお守りください)



人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

○収納物を棚から突き出して収納しないでください。荷崩れによってけがをすることがあります。

○ボルトのゆるみ、支柱の変形などの異常を発見したまま使用しないでください。製品が壊れてけがをすることがあります。

○廃棄するときは、自治体のリサイクル基準に応じて廃棄してください。

○地震等による万一の際の転倒・落下によるケガや製品の破損などの危害を軽減するため、転倒防止金具などを使って、固定することをおすすめします。



人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

〈組み立て・設置について〉

○狭い場所での作業は避け、床や他の家具などに傷がつかないように十分なスペースを確保した上で、丁寧に取り扱いください。

○必ず純正部品を使ってください。純正部品でないと、十分な強度が得られません。

○必ず平らな場所へ設置してください。床が不安定だと、棚が転倒することがあります。

○棚板を踏み台代わりにしたり、上に乗ったりしないでください。

〈使用について〉

○棚板に耐荷重以上のものを収納しないでください。棚板が変形や落下をしてけがをすることがあります。

○荷物は一か所に偏らず平均的に載せてください。集中荷重をかけると棚板に無理が生じて破損のおそれがあります。

○棚板に手足をかけたり、登ったりしないでください。棚板が落下してけがをすることがあります。

○棚板への収納物の積み下ろしは丁寧にしてください。棚板が外れてけがをすることがあります。

○本体の上に乗らないでください。転倒してけがをすることがあります。

○棚板などの塗装面には、傷をつけないよう注意してください。錆発生の原因となります。

○部品の位置(上下左右)を確認のうえ、正しく使ってください。部品を逆向きに使用するとけがをすることがあります。

○危険物(壊れ物、薬品、生物など)を収納しないでください。人や衣服などを傷つけることがあります。

○清掃をおこなう場合は、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。塗装が変色したり剥げたりします。

○分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。

○乱暴な取り扱いや用途以外の使用は避けてください。けがをすることがあります。

○製品に不具合や不明な点がありましたら、早めに記載してある問い合わせ先へご連絡してください。

製品の保証について

お使いの製品が保証期間内に、取扱説明書による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合は、無償にて交換を致します。

万が一、不具合が発生した場合には、お問い合わせ先までご連絡ください。

1. 保証項目・保証期間

保証項目	不具合内容	保証期間
外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色	1年
構造体	強度・構造体に関わる破損	1年

・保証項目は日本国内においてのみ有効とさせていただきます。

・保証期間は商品のお渡し日から起算し、一般家庭用(通常の状態)で使用された場合を想定して定めたもので、過酷な使用方をされた場合の保証期間ではありません。

・保証期間経過後の修理については、有償とさせていただきます。

2. 保証対象外

保証期間内でも次のような場合には、保証対象外となります。

・商品受領後の移動、落下、輸送等による故障、又は損傷

・屋外又は湿度の高い場所での使用による不具合

・改造や不当な修理または使用者の責任に帰すると認められる故障または損傷

・火災、地震、水害、落雷、その他の天災による故障、又は損傷

・本書に記載されている警告や注意事項を守らなかった場合

お問い合わせ先

問い合わせ先: STEEF カスタマーセンター

Mail: info@mysteef.jp

対応時間: 月 ~ 金 9:00 ~ 17:00

(土・日・祝日・年末年始・夏季休暇等を除く)



製造元 金剛株式会社

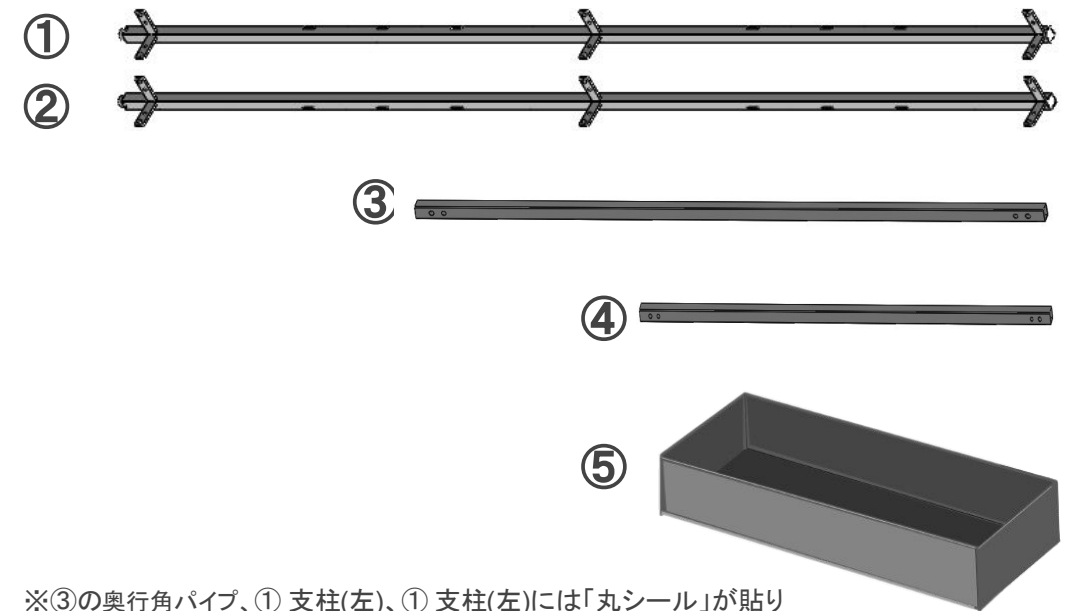


当社はあらゆる環境下における使用・点検のすべての危険を予測することはできません。したがって、本書に明記されている安全に関する内容は安全のすべてを網羅したものではありません。本書に書かれていない使用・点検はおこなわないでください。もしもおこなった場合の人身事故や故障については責任を負いかねます。

部品表

組み立てる前に必要な部材が揃っているか確認してください。

内容物	61cm 72cm
① 支柱(左)	2本
② 支柱(右)	2本
③ 横幅角パイプ	4本
④ 奥行角パイプ (丸シール付き)	4本
⑤ ボックス	1箱
⑥ ボルト	16個
⑦ 六角レンチ	1本



※③の奥行角パイプ、① 支柱(左)、① 支柱(左)には「丸シール」が貼り付けてあります

組立

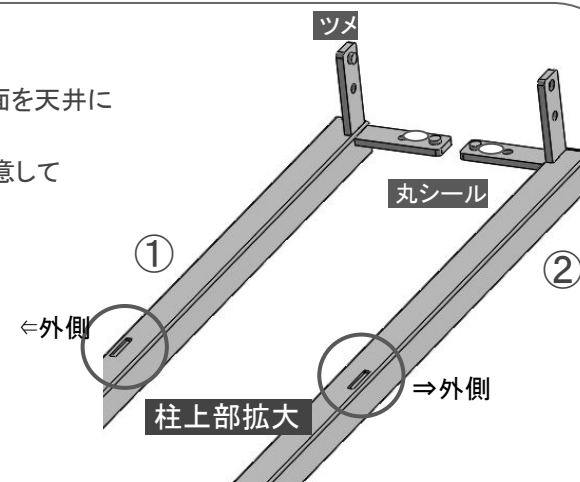
組み立てによる床や壁への傷を防ぐため、養生をお勧め致します。

1. フレームを2つ作ります

1

①支柱(左)、②支柱(右)の丸シールがある面を天井に向けて右図のように並べます。
①支柱(左)、②支柱(右)のお間違いいには注意してください。

POINT ①支柱(左)、②支柱(右)を床に置き穴が真上を向き、柱の外側寄りになる状態(ツメが内側を向く)が正しい向きです。

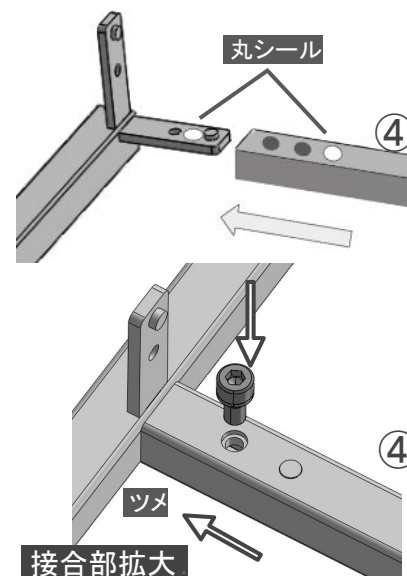


2

④奥行角パイプ(丸シール付き)を①支柱(左)のツメの丸シール付部分に差し込みボルトで組み付けます。すべての④奥行角パイプ丸シール付きを①支柱(左)に組み付けたら、②支柱(右)も同様に組み付けます。

[工程ごとの完成図]のように、2つのフレーム体ができます。

POINT ボルトで止める際は、まず仮留め(軽く締め付け)をし、バランスを調整した後に本締め(十分に締め付け)してください。

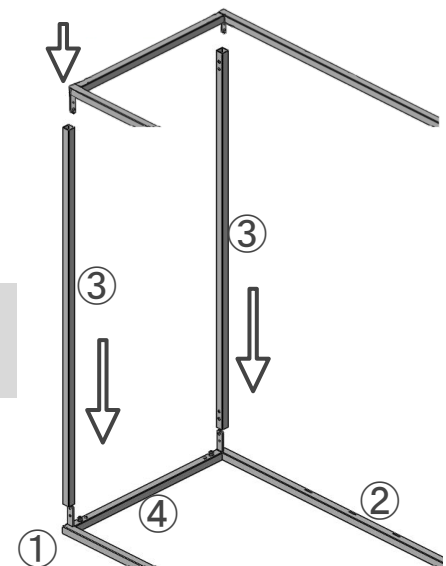


2. フレームを完成させます

3

②で組み付けをしたフレーム体の残りのツメの部分に③横幅角パイプを差し込みます。反対側にも①支柱(左)、②支柱(右)のツメの部分差し込み、支柱同士で③横幅角パイプを挟むようにボルトで組み付けます。

POINT まず仮留め(軽く締め付け)をし、バランスを調整した後に本締め(十分に締め付け)してください。



4

棚を起し、ボックスを最上部にはめたら完成です。

